



2015年12月3日

報道機関関係者 各位

尚絅学院大学子ども発達支援センター講演会
「障がい者の日々の暮らしにふれる～共に暮らし、共に育つ～」
のお知らせ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび尚絅学院大学では「障がい者の日々の暮らしにふれる～共に暮らし、共に育つ～」
と題しまして講演会を開催いたします。

ダウン症児・者として豊かな人生を歩んでこられた玉井拓野さんと拓野さんを支えてこられた
母親真理子さんに日々の暮らしについて、また保育園時代に担任であった桜井ひろ子さん
(尚絅学院大学常勤講師)には、当時の日々を語ってもらい、子どもたち、保護者、保育者
が「共に生き、共に育ちあうことの大切さ」について考えるひと時にしたいと思います。

つきましては、障がいとともに豊かな人生を歩んで来られた玉井さんのお話に保育・教育
を位置付けながら、講演「保育・教育のあるべき姿」について再考する機会としたいと考え
ておりますので、是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

記

実施概要

日 時：2015年12月12日（土）10：00～12：00
場 所：尚絅学院大学5G講義室

※詳細は別紙資料をご覧ください。

尚絅学院大学子ども発達支援センター
氏名：小松 秀茂（こまつ ひでしげ）
TEL：080-3195-4157
Email：hide-komatsu@shokei.ac.jp

2015年度尚綱学院大学子ども発達支援センター

講演会

障がい者の日々の暮らしにふれる ～共に暮らし、共に育つ～

ダウン症児・者として豊かな人生を歩んでこられた玉井拓野さんと拓野さんを支えてこられた母親真理子さんに日々の暮らしについて語ってもらい、また保育園時代に担任であった桜井ひろ子さん(尚綱学院大学非常勤講師)には、当時の日々を語ってもらい、子どもたち、保護者、保育者が「共に生き、共に育ちあうことの大切さ」について考えるひと時にしたいと思います。

講師：玉井拓野さん

1982年、ダウン症をもって仙台で生まれる。地域の保育園、小学校、中学校を経て、養護学校高等部卒業。現在は甲府市内の「ゆうき工房(いわゆる福祉作業所)」に通って仕事をしている。趣味はボーリングと映画鑑賞。仙台の牛タンが大好き。

話題提供：

玉井真理子さん(拓野さんのお母さん 信州大学准教授)

桜井ひろ子さん(拓野さんの保育園時代の担任)

日時：2015年12月12日(土) 10時～12時

会場：尚綱学院大学5G講義室

参加費：無料(申し込みの必要はありません。直接会場にお越しください。)
アクセス：駐車場利用可。

JR仙台駅、JR南仙台駅、地下鉄長町南駅より「尚綱学院大学行き」バス利用可。

主催：尚綱学院大学子ども発達支援センター

問合せ先：小松秀茂研究室(022-381-3388)